

衰退傾向にある木造密集市街地のランドスケープデザイン

非常勤講師	熊谷 玄	(STGK Inc.)
教授	三谷 徹	(建築学科)
教授	小泉 秀樹	(都市工学科)
特任助教	矢吹 剣一	(先端研)

■対象敷地の概要

砂町銀座商店街とその周辺

■背景

砂町銀座商店街とその周辺に広がる木造密集市街地は、高齢化が進み空き家の増加などが懸念されている。そうした沈滞が進んだのちに従来型の大規模再開発が行われることが想定される。

■課題

従来型の大規模再開発に対するオルタナティブを提案する。その際、このまちに投資する企業を想定し、企業と地域の主体等が連携した再生プログラムの提案を行う。

■実施方式

①エスキス

可能な範囲で対面でのエスキスを実施。必要に応じて ZOOM で実施する。

②作業

グループ作業については、工学部 14 号館 1F 141 講義室を利用する。エスキスは 2F222 教室などを利用して実施する。いずれも感染症の状況に応じて利用可能か判断する。なお、その場合であっても窓、扉の開放、マスク着用、居室内部での飲食の禁止、手洗い消毒、など感染症対策に必要な対応を実施する。

③現地踏査

感染症の状況に応じ、少人数（最大 6 名まで）で実施することを可能とする。踏査結果のとりまとめなどを実施する場合、屋外空間にて実施するなど、感染症への配慮を十分に行う。

■スケジュール

6 月 4 日（土）

イントロダクション：

- ・ 課題説明
- ・ レクチャー（現場に関する講義、WebGIS の説明）
- ・ グループ編成（5 - 6 人で 5 グループ程度、各グループのメンバーのバックグラウンドの構成が、概ね同じになるように院生自身で調整）
- ・ 調査企画検討

6 月 11 日（土）

フィールドサーベイ

6月18日(土)	エスキス	※大学院入試日
6月25日(土)	エスキス	※大学院入試日
7月2日(土)	自主作業日	
7月9日(土)	中間発表・講評	
7月16日(土)	提案作成にむけたエスキス	
7月23日(土)	自主作業日	
7月30日(土)	エスキース	※修論ジュリー日
8月6日(土)	最終発表・ディスカッション	

■参考資料

- ・ 芳賀ひらく (2013) 『古地図で読み解く 江戸東京地形の謎』 二見書房
- ・ オギュスタン・ベルク (1990) 『日本の風景・西欧の景観 そして造景の時代』 講談社
- ・ オギュスタン・ベルク (1996) 『都市の日本一所作から共同体へ』 筑摩書房
- ・ アレックス・カー (2002) 『犬と鬼 知られざる日本の肖像』 講談社
- ・ デービッド・バニス, ハンター・ショービー (2018) 『ポートランド地図帖 一地域の「らしさ」の描きかた』 鹿島出版会
- ・ 佐藤滋ほか (2017) 『まちづくり図解』 鹿島出版会
- ・ 中沢新一 (2005) 『アースダイバー』 講談社
- ・ 杉浦康平, 松岡正剛 (1977) 「世界のグラフィックデザイン <1> ヴィジュアルコミュニケーション」 講談社
- ・ 太刀川英輔 (2021) 『進化思考 -生き残るコンセプトをつくる「変異と適応」』 海士の風
- ・ 園田聡 (2019) 『プレイスメイキング: アクティビティ・ファーストの都市デザイン』 学芸出版社
- ・ クレア・クーパー・マーカス, キャロライン・フランシス編 (1993) 『人間のための屋外環境デザイン: オープンスペース設計のためのデザイン・ガイドライン』 鹿島出版会
- ・ 陣内秀信 (2015) 『イタリア都市の空間人類学』 弦書房
- ・ パッツィ・ヒーリー, 後藤春彦訳 (2015) 『メイキング・ベター・プレイス: 場所の質を問う』 鹿島出版会